

## 令和2年度 若葉区民対話会 意見交換概要

### 「コロナ禍におけるこれからのコミュニティ・行政について」

日 時：令和3年2月13日（土曜日）

10時30分から12時00分

開催方法：オンライン形式（ZOOM）

意見交換に先がけ、新型コロナウイルス感染症の拡大状況や、千葉市が行ってきた対応について説明した後、参加者それぞれの立場から、コロナ禍において感じたことや困ったこと、行政機関へ求めることなどについての意見交換を行いました。

#### 1 区からの説明

##### （1）新型コロナウイルス感染症について

若葉保健福祉センター所長から、新型コロナウイルス感染症の拡大状況や、国や県、市が行ってきた対応などを説明しました。

##### （2）千葉市の取り組みについて

若葉区長から、千葉市が独自に行ってきた取り組みである「ちばしチェンジ宣言！」（行動制限下でも社会経済活動を維持するための環境整備推進策）について、資料に沿って説明しました。

#### 2 意見交換

参加者それぞれの立場から、コロナ禍において感じたことや困ったこと、行政へ求めることなどについての意見交換を行いました。

##### （1）学生生活等について

###### 【植草学園大学 学生】

- ・前期はすべての授業がオンライン、後期になって対面での授業が一部再開されたが、それも週に1回程度であり、1年間のほとんどがオンラインでの授業という状況であった。

###### 【植草学園大学 学生】

- ・サークル活動や学園祭、ハロウィンなどの大学のイベントもすべて中止になってしまい、昨年度は卒業式も実施できなかった。感染状況によっては今年も昨年と同じ形になってしまうのかと心配している。
- ・学校からは学費支援ということで3万円の援助があったが、それだけでは足りないので、区のほうからも援助があったらうれしい。

###### 【植草学園大学 学生】

- ・福祉施設での実習ができず、代替として夏休みに対面による集中講義を受けたが、実習の経験はとても大切なものであるし、実習がなくなることは就職にも影響がある。

- ・一人暮らしの学生は、アルバイトのシフトを削られてしまい、困っている人が多いという印象だった。

#### 【区長】

- ・収入の減少によって学びの継続が困難になった学生の方を、文部科学省が経済的に支援する制度があるので是非活用してほしい。

#### 【東京情報大学 学生】

- ・本学は4月からずっとオンライン授業だったので、対面授業の実施があったと聞いて驚いている。看護学部は様々な実習がある。実習ができないことで、就職時にどのような影響が出るのか、また、今後も必要な教育が受けられるのか心配である。

#### 【東京情報大学 学生】

- ・先生方が、現場で実際にある事例を設定して授業してくださるので知識は得られるが、実習がないと技術面は磨かれない。私たちの世代がコロナ世代といわれ、あまりできないというレッテルが貼られるようなことがないようにしていただきたい。
- ・学校の図書館が利用できず調べ物ができなかつたので、手元の教科書だけを使って自学自習で勉強を進めるしかない部分もあり、大変だった。

#### 【東京情報大学 学生】

- ・医療機関での実習が感染症対策のためすべて中止になり、オンラインでの実施となった。予備知識がないまま実際に働くことになったときに、患者さんと適切にコミュニケーションがとれるか不安である。
- ・千葉市内の図書館も閉鎖されており、利用できなかった。また、医学書や看護の専門書・参考書は値段が高いが、配架の充実を求めたい。

#### 【区長】

- ・中央図書館はインターネットで蔵書検索ができるので、市の図書館もぜひ活用してほしい。
- ・ほかに、学生からの質問、学生への質問などありますでしょうか。

#### 【地域活動団体 A】

- ・子育て世代の支援をしており、学生さんに協力してほしいイベントがある。広報するにあたり、学生さんはこういった媒体・方法で情報を手に入れているのか参考にしたい。

#### 【学生】

- ・Instagramは写真もあって検索しやすいのでよく利用している。まずハッシュタグで調べて、気になる情報があればそこからインターネット検索につなげている。

#### 【団体 A】

- ・男性はツイッターの利用が多いという印象だがどうか。

【学生】

- ・私はツイッターを利用していない。情報収集は対面で友人家族から、または、ネットニュースをアプリで見ている。他にはユーチューブも利用している。

【団体 A】

- ・地元の情報を探るときはどうするのか。

【学生】

- ・ツイッターやインスタグラムを利用していなくても、インターネット検索から必要な情報にアクセスできるので、とりあえず検索をかけて調べてみている。

## （2）自治会活動等について

【若葉区町内自治会連絡協議会 役員】

- ・人が集まらないため、これまで週3～5日実施していた地域の防犯パトロールを中止している。各自治会のパトロールが地域犯罪の減少につながっていると警察の方も言っており、継続していきたいと考えているが、ただでさえ地域の高齢化によりこうした自治会の活動や運営管理が難しくなっている。新しい人が入ってくれないと厳しい状況である。
- ・小学校が廃校になり、避難所が減ってしまうことが心配である。各自治会から人を出してもらい避難所運営委員会を組織して、避難所開設訓練を行っているが、高齢のため自分の家から訓練場所まで移動できず、訓練をすること自体ができないなどの理由で、参加者が非常に少ない状況である。
- ・自治会は40～50年前からある。ずっと同じやり方ではなく新しい方法を探っていかないと自治会運営は難しくなっていく。自治会というのは、地域にとって絶対に必要な組織であると思っている。地域の安心・安全は自治会の皆様で協力をしないと守れないものである。この点について共有しながら、各自治会長と連携を進めていきたい。

【区長】

- ・若葉区は昭和30年代の終わりから40年代にかけて開発され大規模な団地を形成してきた地域で、現在、千葉市でもっとも住民の高齢化が進んでいる。そのような中で次代の担い手の不足は大きな課題である。
- ・自治会はすべての市民生活のベースとなる組織である。市長は文部科学省に教育の一環として町内自治の仕組みについて教えてほしいと提言を行っている。本日参加されている学生の皆さんも、ぜひ地域の活動に参加していただきたい。

## （3）地域活動団体について

【団体 A】

- ・若葉区を子育てのしやすい街にし、子育て世代を増やすために、託児の受け入れなどの子育て支援活動を行っている。子育て世代のお母さんは忙しくて自分で情報を取りに行けないので、こちらから情報を届けることが一番であると考えている。若葉区役所とコラボをすると前向きな反応が多いので、一緒に何かできないかと考えるが、いかがか。

【区長】

- ・若葉区はラジオ体操を通じて健康づくり・まちづくりを進めていきたいと考えている。感染症対策に留意しながら、ぜひ一緒に活動を推進していきたい。
- ・子育て支援活動を行うに当たり、お子さんたちが密になりやすい状況であると思うが、何か気を付けていることはあるか。

【団体 A】

- ・一時預かりの担当者には、大人数の食事会への参加を控えるなどプライベートにおいても行動に気を付けてもらっている。また、ソーシャルディスタンスを保つ、換気、検温、消毒の徹底、マスクを二重に着けるなど、やれることは実施している。

【区長】

- ・保健福祉センター所長からの、活動を進める上でのアドバイスはあるか。

【保健福祉センター所長】

- ・感染対策については、国や保健所から分かり易い形でポイントが示されているので実践してほしい。

【地域活動団体 B】

- ・自治会は人が毎年入れ替わるため連続性に難点があり、良いアイデアがあっても単年度で終わってしまう。そこで、継続的に活動するために、有志で地域の支え合い事業を行う団体を立ち上げた。高齢者を対象に、団地の上階に住んでいる方のゴミ出しの支援や、テレビの故障、電球の交換、包丁研ぎ等に対応している。
- ・活動内容の周知を図る際は、インターネット上ではなく、対面でのふれあいを中心に進めていきたいと考えている。現在は屋内で集まる機会が減っているが、1～2か月に1回程度6キロをゆっくりウォーキングする活動を行っている。

【地域活動団体 C】

- ・私は、空き地を利用してマルシェ（市場）を開いている。フェイスブックでも情報発信しており、200人くらいが野菜や手作り品等を買いに来てくれる。植草学園大学さんに協力をしてもらって開催したこともある。
- ・マルシェの利用者は高齢者が多い。遠くのスーパーで重たい野菜を買って帰ってくるのは難しいので、近くで買える場があるとよい。また、買い物にきて他者とコミュニケーションをとるということが重要だ。
- ・都賀の台には大きな公園があるが、毎朝6時半に30人ほどが集まり、ラジオ体操を行っている。互いの安否確認にもなり、コミュニケーションの場にもなっている。

【区長】

- ・地域それぞれで様々なことが起きている。学生さんはこのような各団体の意見を聞くことはあまりない機会なので、各地区は高齢化が進んで本当に大変な状況なのだということを理解していただきたい。

- ひととおり意見を伺ったので、聞きたいことがあれば挙手を願います。

【地域活動団体 C】

- 都賀の台は大学とは反対側だが、学生の皆さんと一緒に何かできたらと考えているので、機会があれば是非参加してほしい。

【若葉区町内自治会連絡協議会 役員】

- 自治会は人が足りていない。学生さんも参加をしたいと思っていただけると助かる。学業が本分であるが、それ以外に地域への貢献も考えていただければありがたい。

【区長】

- 学生と地域をつなげることが区役所の役割の一つであるので、地域振興課に相談をしてほしい。また、若い方が中心となって地域を盛り上げていただきたい。
- 新型コロナウイルス感染症は、国と自治体と地域とが連携して対策をしていかなければいけないものであり、今後、歴史の教科書に載るであろう大きな出来事である。将来、教科書の年表を見て振り返り、そのとき自分がなにをしていたのかを見つめなおした際に、胸を張れるようにしっかりと今を過ごしてほしい。